



市長 投票の前に、候補者がどのような考えを持っているのか情報収集をしましょう。選挙公報や掲示されたポスターを見たり、演説を聴いたりして誰に投票するのか慎重に考えることが大切です。

若者の投票率 向上のためには

市長 近年、若い人の投票率が低いことが課題になっています。どうすれば若者が投票に行くと思いますか。

関口さん 投票所は少し堅いイメージがあります。いざ投票となると緊張しちゃうんです。気楽に投票できる雰囲気を作っていたら、若者も含めて全ての有権者が投票することが当たり前になるのではないのでしょうか。

宮島さん 生徒会の選挙を経験したので思うのですが、候補者が何をどうしたい

大事な一票を持つことに 責任を感じます。(関口さん)

のかをしつかり伝えていくべきです。それから、公約を明確化して分かりやすくしてほしいです。それが投票につながると思います。僕たちも「自分たちの力で社会を良くしていくんだ」という考えを持つことが大切だと思います。

市長 立派な考えですね。若者の皆さんには「自分たちの国や地域は自分たちが投票することで作り上げていくんだ」という意識を持ち、まずは選挙自体に興味を持ってもらいたいと思います。

私たちの未来予想図

宮島さん 工藤市長が市長を目指した理由やきっかけを教えてください。

市長 私は昭和49年に行田市役所に入庁しました。一生懸命仕事をしていまして、職員の間で私が考えているまちづくりを実現するには限度があると感じました。「もっともっと行田をよくしていきたい」「まちに活力を与えたい」との思いで立候補し、幸運にも当選することができました。皆さんには今、夢や目標はありますか。

関口さん 私の一番の夢はハンマー投げの選手としてオリンピックに出場することです。

市長 最近の活躍を見ると可能性は十分にあると思います。今からだと2020年の東京オリンピックですね。新しい国

投票で「自分たちの力で社会を良くしていくんだ」という考えを持つことが大切です。(宮島さん)

立候補場で応援しますよ。

宮島さん 子どもと接することが好きなので、大学で保育・福祉の分野を学んで保育士が幼稚園の教諭になりたいと思っています。

市長 宮島さんは優しさが表情にも出ていますね。少子化が進んでいる今だからこそ、大切な仕事だと思っています。将来は、ぜひ市内の幼稚園が保育園に就職していただきたい。これからそれぞれの夢に向かって、生活の場や環境が変わり、行田から離れる可能性もあると思います。でも、絶対に行田のことは忘れず、ずっと郷土愛を持ち続けてほしいです。皆さんは行田にお住まいと聞いたのですが、行田でお気に入りの場所や素晴らしい



工藤市長と 模擬投票を体験

「投票は簡単ですよ」。工藤市長から投票する際のアドバイスを聞きながら、2人は模擬投票を行いました。「思っていたより手軽なんだ」と感想を述べていました。

い取り組みがあれば教えてください。

宮島さん 3年間田んぼアートのボランティアに参加しました。去年ギネス世界記録に認定され、本当にうれしかったです。友達にも自慢していました。好きな場所というと古代蓮の里やさきたま古墳公園です。観光資源を最大限に生かした取り組みは素晴らしいと思います。

関口さん その他にも忍城、足袋蔵などもありますよね。観光スポットで行われる忍城時代まつりやさきたま火祭り、素晴らしいイベントです。自分のまちの魅力を多くの方に知ってもらいたいんです。

市長 行田市では今、人口減少対策として「子育て世帯定住促進奨励金交付条例」をつくるなど、子育て世代に対する施策を充実させています。皆さんには「こうしたら住みやすくなるのに」とか「こんなまちだったら住みたい」

若い人には、選挙自体に興味を持ってもらいたい。(工藤市長)

というようなアイデアはありますか。

宮島さん 多くの人が「行田はいまちな」って思う魅力を感じるような環境づくりが必要だと思います。例えば「名所」や「名産品」、「ゆるキャラ」の宣伝をたくさんして、人を呼び込むのもいいと思います。

関口さん 商店街で買い物してみたいので、駅付近のお店が活性化すると思います。そのためにも、街中に駐車場がたくさんあるといいと思います。そして、埼玉といえばみんなが「行田市」をイメージするような、全国的に知られる存在のあるまちになると思います。

市長 現在、「行田創生」の取り組みを加速し、「活力あふれる元気な行田」に向けたまちづくりを推進しています。私は皆さんにいつまでも郷土愛を持ってもらうためにも、このまちを守っていかなくてはならないと考えているんです。

若者へのエール

市長 選挙権が与えられるということ、大人としての考え方や自覚を同時に求められるということです。皆さんには「こんな大人になりたい」というイメージはありますか。

宮島さん 幼稚園教諭になるためにやるべきことをやり、さまざまな事を経験して自分の可能性を広げていきたいです。



座談会を無事に終え、ほっとした表情を浮かべる2人。「貴重な体験ができました」と話す姿は、充実感にあふれていました。

新春座談会に参加してくれた方



● 宮島慎二郎さん(普通科3年生)

平成27年度生徒会長。山岳部にも所属し部長を務めた。高校1年のときから田んぼアートのボランティアに参加。子供と接することが好きことから、将来は保育士か幼稚園の教諭になることを目指している。



● 関口清乃さん(総合学科3年生)

陸上部に所属。種目は女子ハンマー投げ。全国大会で高校歴代2位の記録で優勝、U19オリンピックの育成競技者に指定されるなど、今注目の若手アスリート。2020年の東京オリンピック出場にも期待がかかる。